

放課後デイ 5 領域とは？【具体例】と対応

令和 6 年度の報酬改定により、児童発達支援施設・放課後等デイサービスは 5 領域全て網羅した療育を行わなければなりません。このため、5 領域の観点から運営方針や療育内容の見直しを行い、支援プログラムの作成・公表、個別支援計画の作成を行います。

では、放課後デイの 5 領域とは？

「①健康・生活」「②運動・感覚」「③認知・行動」「④言語・コミュニケーション」「⑤人間関係・社会性」になります。

【5 領域の対応】

- ・ 5 領域に基づいたアセスメントを行い、5 領域を網羅した計画を作成した上で支援を行います。
- ・ アセスメントや計画作成の際は、5 領域の視点から、子どもと家族の状況を多角的かつ総合的に分析して、そのニーズや課題を把握することが肝要であり、単に 5 領域に対応する課題や支援を当てはめるだけのアセスメントや計画作成にならないように行っています。

以下は、5 領域に分けて具体例を示していますが、本来、5 領域はそれぞれが独立しているものではなく、相互に関連して重なりあっている点にご留意ください。また、5 領域を網羅した支援をする際には、「自立支援 と日常生活の充実のための活動」・「体験的な活動や遊び」・「地域交流の機会の提供」・「こどもが主体的参画できる機会の提供」の 4 つの基本活動を複数組み合わせることで支援を行うことが求められています。

【5 領域の具体例】

①健康・生活

- ・ 定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）
- ・ 生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）
- ・ 構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援
（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示）
- ・ SST などによる身体的、精神的、社会的訓練
- ・ 衣服の着脱（外遊びや水遊び等の活動の前に重点的に取り組む）
- ・ 衣服の着脱（服を頭上に掲げる程度の行動を促す）
- ・ 身だしなみや整え方

②運動・感覚

- ・姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善
- ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動
- ・つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供
- ・ストレッチ、ラジオ体操、軽い運動
- ・バランスボールでの姿勢保持
- ・指先トレーニング
- ・ビジョントレーニング
- ・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動

③認知・行動

- ・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子の把握
- ・空間・時間等の概念の把握
- ・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成
- ・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成
- ・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成
- ・ブロック遊びによる空間把握の認知形成
- ・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮
- ・ABAなどにより感覚、認知の偏りに対するリフレーミング
- ・季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動

④言葉・コミュニケーション

- ・文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用
- ・はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容
- ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容
- ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き
- ・自己紹介、他己紹介
- ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化
- ・PECSなどコミュニケーションのスキル向上訓練
- ・手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション

⑤人間関係・社会性

- ・アタッチメント形成（個別面談で自尊心を高める・認める）
- ・活動前に全体を指差しする等を行い、全体を見渡す機会の設定
- ・見本になるこどもの近くに誘う等の関わり・促し
- ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ
- ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ
- ・役割分担のある遊びなどの協同遊び
- ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動
- ・地域施設などへの社会見学
- ・イベントなどを通じた地域との交流